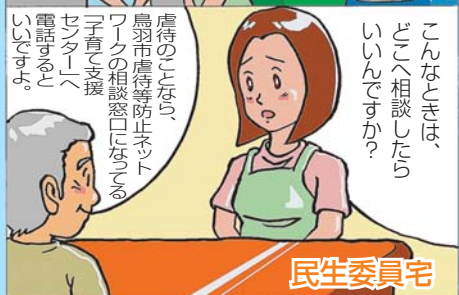
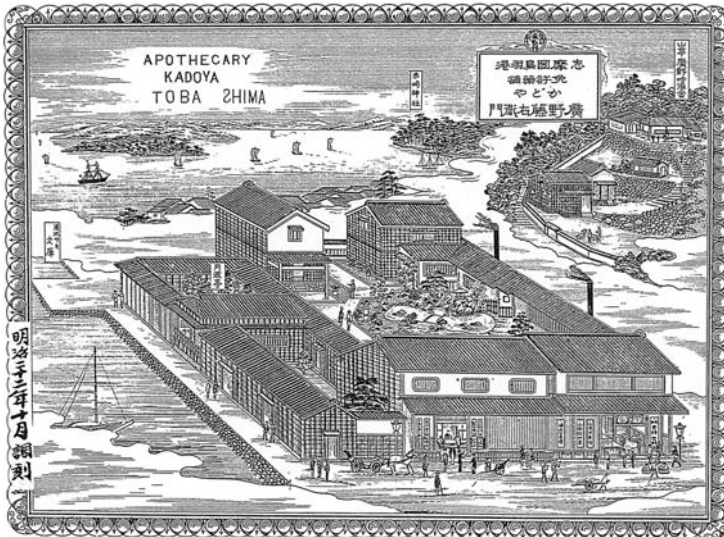


すこやかに とばごげんきん vol.38

AK 絵



虐待等防止ネットワークは、虐待などを受けている児童などに対して迅速かつ適切に対処するため、関係機関と連携して虐待を防止するところです。虐待かなと思ったら、まずは相談窓口の子育て支援センター☎ 257221へ連絡を。



よみがえる「鳥羽」をみる

貝の標本

広野家の内蔵に何段もの箱入りの貝の標本が残されています。この標本には、ちよつとしたドラマがあります。これについて、亡くなった重子さんが、生前話してくれたことがあります。それによると、この貝は越賀の学校の先生がその昔、越賀の浜で採った貝で、「広野藤右衛門さんにだったら、もらってもらう」と言って、くださったコレクションで、外国の公使が鳥羽に来られたとき欲しがったそうですが、主人は手放さなかったということです。一度、大水が出たとき濡れてしまったことがあります、今もちゃんと残っています。



貝の標本と一緒に保管されていた鉱物の標本



たくさんの貝が並べられた標本 越賀の先生から譲り受けたものです

Vol.38

江戸時代には「大庄屋」も務め、鳥羽随一の資産家といわれた広野家。平成16年に市に寄贈された広野邸から、さまざまな鳥羽の昔の姿が見えてきます。



編集と発行

総務課広報情報係

〒517-0011 鳥羽市鳥羽三丁目1-1 ☎0599-25-1114
ホームページ http://www.city.toba.mie.jp/
Eメール koho@city.toba.mie.jp

資源保護のために再生紙を使用しています。

編集後記 広報マン 初取材

角谷 今日初の取材、どうやった？8月1日号の表紙を飾れそう？
高島 一生懸命作品作りをしてることもたちの表情を撮りたかったんですけど...出来上がった写真は、イメージとかけ離れました...
角谷 何をしようか分かんないかなあ。
木村 僕もナイスショットをねらったんですけど、難しいもんですね！
角谷 プロでも何十枚も撮って、いいのは1〜2枚らしいよ。いろいろ場面をいっばい撮って腕を磨いてな！
木村・高島 はい、これからバンバン撮りまくります！！

